

提案団体名：富士通株式会社・(株)富士通総研

○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等                  ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>1. スマートシティ評価体系の策定技術                  都市・地域全体、または、その一部分野を対象に、都市・地域の将来ビジョン・目標(スマートシティ構想など)に向けた計画やその活動による目標実現性を包括的な視点で評価する、評価体系の構築を支援する技術を提供します。                  (1)特徴                  国際標準ISO37153(成熟度モデルを活用した都市インフラ評価・改善)の評価基準を活用したスマートシティ評価体系の構築を支援します。この評価基準を活用することにより、現在から将来に亘る都市・地域のニーズの充足状況の評価とともに、その取組みの管理・運用品質などの評価を併せて行うことで、目標への取組みを包括的に評価できます。なお、成熟度モデル(目標に向けた段階的な目標ステップを定義)を活用した、目標の段階的なマイルストーンの設定とその達成状況の評価実施により、最終目標に向けた的確な取組みを推進します。                  (2)評価ターゲット                  1) 都市・地域のスマートシティ構想や中長期計画(総合計画やマスタープラン等将来の都市・地域のあるべき姿を決定したもの)などに対応する評価体系の構築(対象は都市・地域の全体、または、その一部分野でも対応可能)                  2) 都市・地域内の都市インフラに対する都市・地域視点からの評価体系の構築                  2. 実績状況                  ISO37153を活用した都市インフラ評価の実証とともに、都市インフラ以外でも、自治体教育分野での評価体系の策定検証を実施しました。また、現在、海外にて、当方式を活用したスマートシティ評価のプロジェクトを推進中です。</p>	<p>(7)その他                  都市の評価に関する技術</p>
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ                  ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>1. スマートシティ構築の推進上の課題                  スマートシティ構築に向けては、スマートシティ関連の技術検証のフェーズから、都市・地域(自治体)の将来構想・目標の実現に資する取組みのフェーズとして、発展させる必要があります。しかしながら、これまで、スマートシティ構築を自治体の将来構想・目標と整合させ、実現に向けた取組みを推進する方式が展開されていなかった。                  2. 上記技術の適用による上記課題の解決イメージ                  (1)技術適用イメージ                  自治体の将来に向けたスマートシティ構想、SDGs適用などの将来構想の実現に向け、国際標準の考え方に基づき、目標の段階設定、管理・連携の高度化、結果共有などを推進する評価体系を構築します。これを活用した評価により、その施策の管理、構想実現の推進を支援します。なお、当評価体系の構築には、将来構想・目標とその施策を前提に、評価・管理項目の整理、および、評価基準によるその段階的評価レベルの策定が含まれます。                  (2)適用効果                  1) スマートシティの評価体系の構築を通じて、スマートシティ施策と都市・地域の目指す目標との関連性や施策の充足性を確認でき、また、施策や推進環境の評価により、目標実現の推進状況や改善点を明らかにします。                  2) スマートシティ評価体系の構築により、自治体の持つ将来構想・ビジョンと整合したスマートシティの実現を推進                  3) スマートシティ目標とその段階ステップ・取組み・状況を評価活動を通じて住民などと共有でき、市民参加を推進                  4) 目標実現の重要要素である「取組みの管理品質」や「関連組織との連携」の評価により、施策推進管理を高度化</p>	<p>(シ)その他                  都市・地域の施策推進</p>
<p>(3) その他                  (技術導出背景)国際標準ISO37153(成熟度モデルを活用した都市インフラ評価・改善)が2017年に国際標準化された。当評価方式は、都市インフラの評価を住民、管理者、環境など様々な視点で行うこと、国際標準で定義された評価基準(現在から将来に至る都市インフラの貢献・ニーズ充足度を評価するとともに、その管理・運用を推進する組織の管理の質、および、関連するステークホルダーとの連携度などの評価する基準)の提供により、都市インフラの将来に亘る持続的な役割遂行のための包括的評価を推進します。弊社では、この評価基準の考え方をスマートシティ評価に活用し、都市・地域の将来目標の方向性に合致したスマートシティの実現推進を行う自治体に向け、スマートシティ評価体系構築手法を確立しました。</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
富士通株式会社 公共・地域営業グループ グローバルビジネス統括部	市村 富保	03-6252-2534	<a href="mailto:ichimura@jp.fujitsu.com">ichimura@jp.fujitsu.com</a>